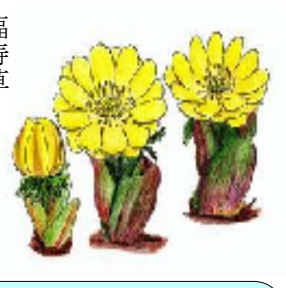
沖電気の職場を明るくする会　【OAK】　２０２２年　１月　第４０２号

あすなろ

連絡先：電機労働者懇談会気付　沖電気の職場を明るくする会
東京都品川区二葉 2-20-8　染野ビル２Ｆ　電話 03（6421）5323
ホームページ　沖電気の職場を明るくする会　検索→

福寿草



花言葉：幸せを招く

22年春闘「生活改善要求アンケート」にご協力をお願いします。

職場の実態と皆さんの要求をつかんで、労働条件の改善に役立てていきたいと思います。沖電気の職場を明るくする会ホーム ページからでもアンケートができます。

いのちと暮らしを守る政治を

コロナ禍の中で、はたらいている人々の脆弱性が浮き彫りになり、女性労働者や非正規労働者に集中して現れました。雇用の不安定、無権利な状態は、労働者派遣法の改定、規制緩和が30年以上続いた結果です。最低賃金に近い賃金で働く人の割合は、２０２０年に１４・２％と10年間で倍増しています。いのちと暮らしを守ることと政治がつながっていることを思い知らされたのもコロナ禍の中です。

「市民と野党の共闘」の共通政策には、医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生整備を迅速に進めることや最低賃金の引き上げ、非正規労働者・フリーランスの処遇改善、自由で公平な社会の実現など、労働者の切実な要求が盛り込まれ、実現が期待されます。

中期経営計画と労働組合

沖電気はこれまでも不採算部門の構造改革を行い人員の削減、コストカットを行ってきました。

昨年は年明け早々に、富岡工場・ＥＮＳ本庄工場の従業員の関連子会社への転籍が半ば強引におこなわれ、労働者の怒りを買い労働組合の存在意義が問われました。また、賃金ダウンを認める賃金制度は、組合員の団結を阻害する一つとなっています。

待遇改善とジェンダー差別の是正を

パートタイム・有期雇用労働法が20年４月にスタートし、沖電気でも一定の前進がありました。さらに均等待遇の労働条件の改善も求められています。

ジェンダー格差の見える化をはかり、格差の是正を進めて行きましょう。

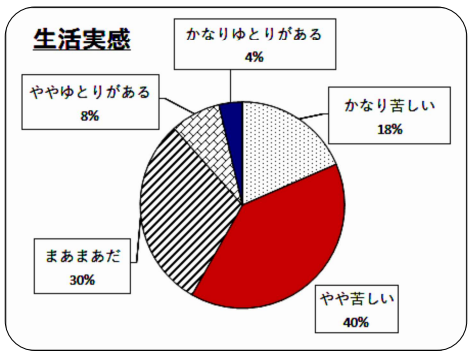
ハラスメントのない職場を

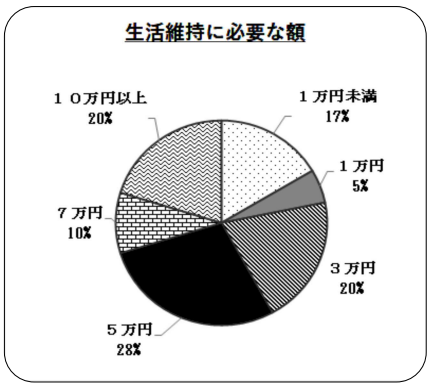
２０２０年６月からすべての職場においてハラスメント防止対策をとることが義務化されました。声をあげた労働者を守るのは、労働組合の役割です。

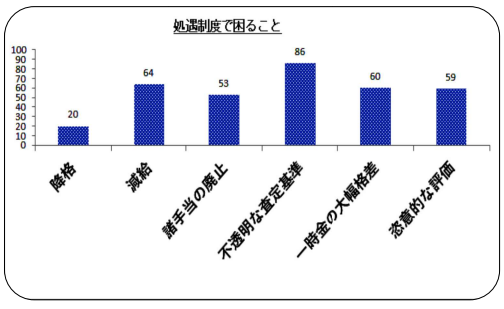
安心して人間らしく働ける職場を一緒に創っていきましょう。

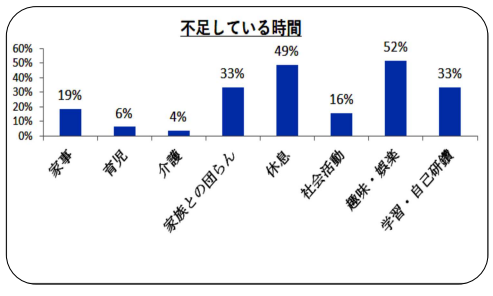
沖電気の職場を明るくする会

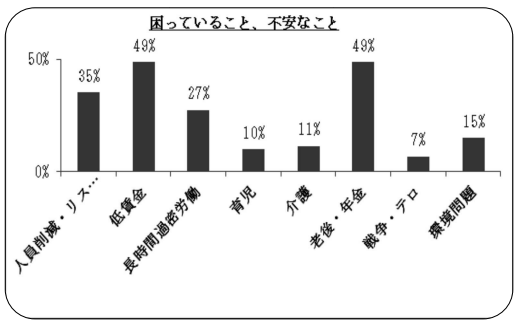
2022年　電機「生活改善アンケート」中間結果から

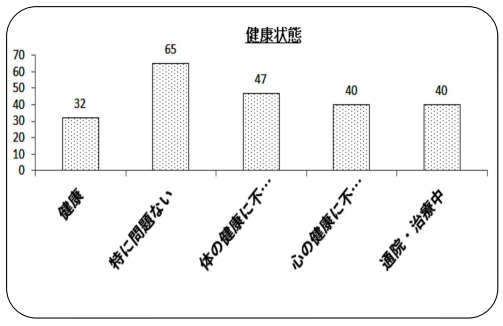












職場からの声

★大卒4年目で給料は月額23万で、手取は17万18万(残業無しの場合)。家賃、光熱費など生活費を引くと貯金や遊びなどのお金は無い。経営層はこのことについてしっかり認識して大幅な賃上げをすることを強く望む。**(NEC)**　★今の給与では将来に不安に感じている。仕事については、会社的に都合の良い「兼務」が多く、人出不足である。また残業規制で、現在の業務料を消化するのは厳しい状況である。**(東芝)** ★私はパワハラを受け休職しました。医師の診断書も提出しましたがパワハラを認めず、最終的には減給処分を受けました。本当にひどい会社だと思います。また本社に会社の不正を通報しましたが子会社のことなのでという対応で最終的にもみ消されてしまいました。**(三菱電機)**
★転籍して給料が1割ダウンだったが12月の一時金も1割ダウンした。**(ＯＫＩ)**

青空

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。昨年までと同様、本年も労働者の訴えに耳を傾け、働きやすい職場作りを目指し取り組んでいきます。不当差別やパワハラ、低賃金問題などに対するたたかいはあきらめず継続することが必要と実感しています。より多くの労働者が安心して働ける世の中を願います。昨年末には横浜地裁で、パワハラや職場追放・不当解雇などを長く訴え続けた方の勝訴判決が出ました▼ＮＥＣ系列会社（現シャープ傘下）で職場を拉致される形で追い出され、休職となり職場復帰を訴えたものの、会社側は不当な理由をでっち上げて復職を認めず休職満期で解雇になった伊草さん。判決内容は「原告が被告会社に対し、雇用契約上従業員としての地位を有することを確認する」と職場復帰を認める内容であり、長く訴えてきたことが実を結びました▼電機企業において、このような人権侵害を訴えている方がまだ多くいます。一例をあげますと、三菱電機では上司からのセクハラを訴えた女子労働者に対し、監視カメラ付きの監獄部屋・追い出し部屋に長年も押し込めるという重大な人権侵害が発生しています▼企業はコンプライアンスをうたうのなら、こうした労働者に対する不当弾圧や人権侵害は即やめるべきです。また訴える労働者の声をしっかり受け止めるべきです。それこそが企業が信頼され、発展する道ではないでしょうか。

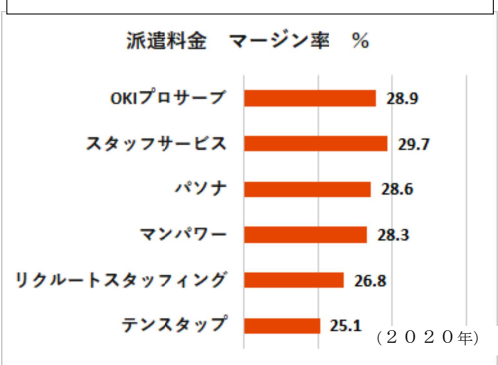
《沖電気を考える》第１６４回　派遣会社

ＯＫＩプロサーブ　マージン率２８・９％

２０２１年４月１日から法改正で情報提供の義務化

OKIプロサーブの派遣料金に関する事項（１日８時間当たりの平均額）	
労働者派遣料金額	１８，７３７円
派遣労働者の賃金	１３，３１８円
マージン率	28.9%

OKI以外は日本マーケティングリサーチ機構より

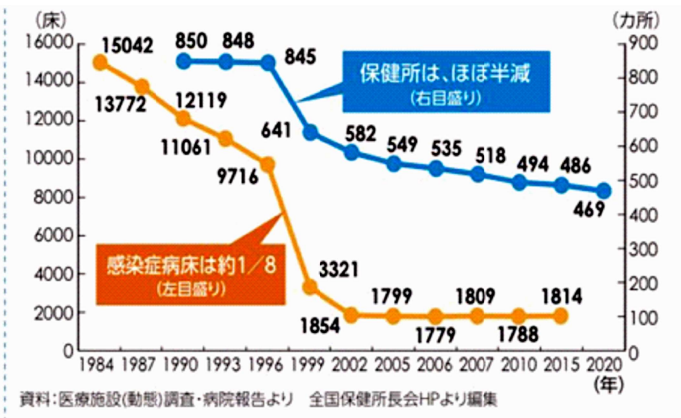


２０１９年４月１日～２０年３月３１日
OKIプロサーブは３５社に派遣。マージン率には、社会保険料、有給費用、福利厚生、教育費なども含まれている。

コロナ禍は日本の医療政策の不備を暴露
命と生活を守るため　政策転換が必要

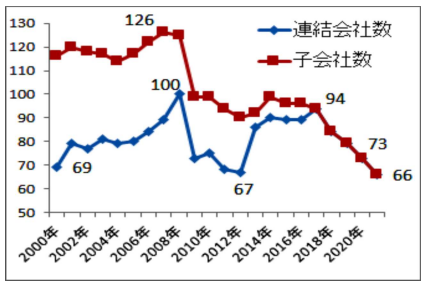
日本では、１９９０年以降保健所の体制が弱められてきました。９２年の８５２カ所から４６９カ所に。

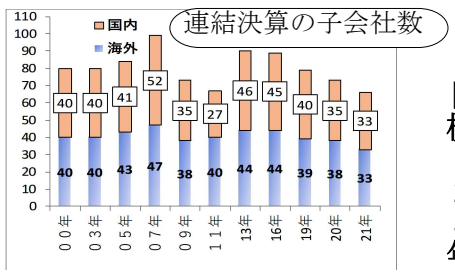
儲け優先で、職員数は約２割、医師数も４割超も減らされ、医療体制は弱体・崩壊しています。



資料：医療施設(動態)調査・病院報告より　全国保健所長会HPより編集

OKIグループ　過去２１年間のリストラの今
統廃合進み　子会社126社⇒66社　60社減





キャシュレス・ペーパーレス
デジタル時代の構造改革を加速
労働条件のダウンや雇用不安に懸念

目標　２３年３月期・純利益１２０億円

ＯＫＩは中期計画（２０２３年３月期目標）で、◎メカトロ（ＡＴＭ）・プリンター・ＥＭＳの統合◎海外生産拠点の見直し◎生産子会社の統廃合◎技術者の融合と統廃合などで、売上高４６５０億円、営業利益２００億円、自己資本比率30％、株主還元30％等を計画しています。

OKI　主要国内２９社の２０２１年３月期の純損益
前期比　黒字化３社　赤字化９社　連結１０年ぶり２億円の赤字

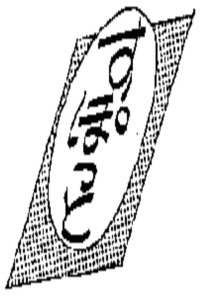
■OKIの会社案内に記載２９子会社の純損益の推移メモ　△赤字（マイナス）	２０２０年３月期 純損益	２０２１年３月期 純損益	前年比
OKI連結	１４０．８６億円	△２．０５億円	●赤字化
OKI単体（提出会社）	１６８．９億円	１２．５８億円	☆黒字縮小
OKIアイディエス	△１２００万円	500万円	◎黒字化
アダチ・プロテクノ	１３５０万円	△５０２３万円	●赤字化
OKIアドテックサポート	８９９万円	1267万円	★黒字拡大
OKIアレステック	１．３５億円	１．４７億円	★黒字拡大
ＯＫＩエジニアリング	５．０６億円	２．９７億円	☆黒字縮小
OKIクロステック	４３．０７億円	３８．２１億円	☆黒字縮小
OKIコムテック	６３７９万円	２９７０万円	☆黒字縮小
OKIコンサルティングソリューションズ	３３１８万円	△１８２３万円	●赤字化
ＯＫＩサーキットテクノロジー	５．７２億円	３．５億円	☆黒字縮小
OKIシーテック	１．０３億円	８４６９万円	☆黒字縮小
静岡OKI	１．１２億円	７００万円	☆黒字縮小
OKIジェイアイピー	３６２９万円	７０９０万円	★黒字拡大
OKIシンフォテック	１６３９万円	△１８８８万円	●赤字化
OKIソフトウエア	１５．７５億円	１０．３６億円	☆黒字縮小
OKIソフトウエアエクスパートサービス	３５３１万円	４４０８万円	★黒字拡大
OKIデータMES	△１４１６万円	５３８万円	◎黒字化
OKI電線	２．７１億円	４．５５億円	★黒字拡大
OKI電線ワイヤーハーネス	４４８万円	２８５万円	☆黒字縮小
OKI東邦電子	２４４万円	△１１１３万円	●赤字化
OKI富岡マニュファクチャリング	２０３５万円	△１．４２億円	●赤字化
OKIトラステック	２９００万円	４１００万円	★黒字拡大
日本ビジネスオペレーションズ	３．１９億円	２．９５億円	☆黒字縮小
OKIネクステック	―	△４．６２億円	●赤字化
OKIハイテック	△３４２４万円	３３５０万円	◎黒字化
OKIプロアシスト	１８５７万円	△６５万円	●赤字化
OKIプロサーブ	１０．２１億円	△２．８８億円	●赤字化
OKIマイクロ技研	７２１７万円	△８４０６万円	●赤字化
モガミ電線	５９３４万円	５２８９万円	☆黒字縮小
OKIワークウエル	１３４万円	１００９万円	○黒字拡大

芝浦の川沿いのＯＫＩ関連ビルとのお別れ
【東京・芝浦】

昨年に芝浦１号館など、川沿いに建つ建物からＯＫＩ系列社員が順次退出し、先月をもって全員退出となりました。建物は１棟を除き解体される予定とのことです。かつて働いた職場に、仲間と苦楽をともにした場所、自らが成長した場所など、解体されることになっている建物にたくさんの思い出を持っている方も多いと思います。２０年ほど前に解体された工場などの建物があり、技術部門の主要拠点として賑わっていた時代を知る世代にとっては、さびしいものがあります。

労働条件の改善を
【群馬・富岡】

昨年は４月に従業員の不安や不満を残したまま転籍が実行され大変な年となりました。賃金も下がりショックを受けた方もたくさんいました。転籍後の給料の昇給においても思っていた額には遠く、「こんなはずではなかった」という声が多く聞かれました。何年も職場の中で頑張って働いてきた人が、ぽつりぽつりと辞めていきました。転籍を強行したことで、職場のモチベーションも下がり、会社にとっても取り返しのつかないマイナスとなっているのではないかと気になります。この状態が続くならば、さらに退職者が出てくるのではと心配になります。早急に労働条件の改善が求められますが、労働組合がない状態が致命的です。何とか希望の持てる職場にしていきたいものです。



「正社員」で働きたい
【埼玉・本庄】

以前契約社員として働いていた労働者が久しぶりに訪ねてきました。約60億かけて建築中の新工場を見て「沖電気は景気いいんですね。自分から退職してしまったけれど、もし正社員だったら働き続けていたかも…」賃金や待遇面で不満があったとも。「頑張って資格を取っている。正規と非正規の差をなくしいずれは希望する誰もが正社員として働けるようになるといい」と話してくれました。

一年を振り返って
【電機・情報ユニオン】

今年も、正規、非正規、再雇用を問わず様々な労働相談がありました。雇用、賃金、ハラスメントや仕事差別、退職強要など労働者の生活と権利を脅かし人格を傷つけ精神的に追い込む事例もありました。そんな中で、三菱の女性労働者がセクハラ告発以降、嫌がらせを受け「追い出し部屋」にいれらても頑張って当ユニオンに加入し差別撤廃に立ち上がった事はマスコミでも取り上げられています。

また、ＮＥＣＤＳの不当解雇で闘う青年労働者の裁判は地位保全が確保され勝利をしました。当ユニオンは、不当な企業の横暴から労働者に寄り添い守っていく運動をこれからも継続していきます。

一年間、読んで頂き有難うございました。来年もよろしくお願いいたします。

（相談はＴＥＬ０３-６４２１-５３２３）